

甘藷の基腐病 治癒効果検証 (奈良県)

【甘藷の基腐病 治癒効果検証】

大和培養液散布前

2022年8月27日



8月27日 基腐病が発生した甘藷に、マルチの隙間から大和培養液C1,000倍希釈水を土壌散布した。



大和培養液散布後

2022年10月2日



10月2日 散布から僅か1カ月で、基腐病が発生した甘藷の茎と葉が成長した。気温の寒暖差があり、日照時間が短くなり、花が咲いた。

【基腐病が発生した甘藷の収穫】

基腐病が発生した苗



基腐病が発生した甘藷の収穫

収穫日：11月3日

甘藷は、植え付け後、120～140日程度で収穫できます。

この農園の甘藷は、8月27日に基腐病が発生し、大和培養液C1000倍希釈水を散布した日をスタートと考えると、実質8月27日～11月3日の65日間で、通常の半分の日数の短期収穫であり、日照時間が短く寒暖差が大きくなった影響で、珍しい甘藷の花が咲きました。

甘藷は過酷な環境下で子孫を残す為に花を咲かせますので、収穫は、出来ないと諦めていたようですが、小さいながらも収穫でき、驚いておられました。